

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月23日更新

事務事業名	官民広域連携による女性輝く地域づくり事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部	課長名	坂本政誠
	施策	13	働く場の確保と企業誘致の促進			所属課	政策課	担当者名	鷹巣 孝之
	施策の柱	39	就業機会の確保			所属班	政策班	(内線)	1234
予算科目	会計一般	2	1	25	11668	根拠法令	成果優先度評価結果		
							コスト削減優先度評価結果		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	女性が活躍できる仕事や住みたくなるまちの創出など、女性にとっての魅力的なまちづくりは、今後の少子高齢化を克服していく上で、重要な要素である。地方公共団体に代わって「稼ぐ都市圏」の実現を目指し、自治体の行政区域を超えた政策主体「たいがかわい協議会(仮称)」を第一線で活躍する女性を中心とする官民広域連携により組織する。
【業務の流れ】	5カ年の事業期間において①創業応援、②子育て教育応援、③地域資源応援、④地元愛着応援、⑤地域の魅力発信を通じて、女性目線の政策提言及び女性輝く地域づくりを集中的に行う。
【主な予算費目】	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)タイプⅡ
【意見や要望】	少子高齢化が進展するなか、創業、子育て、ワークスタイル等、様々な女性のあり方の魅力を発信するものであり、関係者のニーズに合うものである。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
官民広域連携による事業推進組織「肥後六華の会」(菊池市、高森町、合志市、民間企業、地元金融機関)に参画した。地方創生加速化交付金の交付内定を受けた。	三大ミッション (①ワークライフデザインミッション②インバウンドミッション③アウトバウンドミッション)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア	平成27年度補正予算により地方創生先行型(上乗せ分)として開始した事業であり、官民広域連携による事業推進組織「肥後六華の会」(菊池市、高森町、合志市、民間企業、地元金融機関)に参画し、女性目線で取り組む創業応援、子育て教育応援、地域資源応援及び地元愛着応援事業への負担金を予定している。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
子育て、就業、創業等について困っている女性	→ ア 協議会利用者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
女性が活躍できる機運醸成	→ ア 再来訪を希望する旅行客の割合 %
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア									
	イ									
② 対象指標	ア	人			0	0	0	0	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	%			0	0	0	0	0	0
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円			10,000	5,000			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円			60	5,120			
	(A) 事業費計	千円			0	10,060	10,120	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			0	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間			0	0	0	0	0
	(B)人件費計	千円			0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円			0	10,060	10,120	0	0	0

事務事業名	官民広域連携による女性輝く地域づくり事業	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	----------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②28年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

--	--

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						